

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 組～ 6 組
 教科担当者： (1組：富田) (2組：富田) (3組：富田) (4組：富田) (5組：富田) (6組：富田)
 使用教科書： (高等学校 美術 I (光村図書))

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 創造的表現を身に付けるよう、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるとする。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫し、材料や用具を活用し、創造的に表現できる。	感性や想像力を働かせて、対象のよさや美しさを捉え、表現形式や方法、造形の要素、材料や用具などについての体験的理解を基に、自己の表現意図に合った方法を創意工夫し、創造的に表現を構想できる。	創造活動の豊かな美的体験を通して、これからの社会をよりよくする課題を主体的に解決しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期 A 鉛筆デッサン 【知識及び技能】 対象モチーフにふさわしい鉛筆の技法に留意して描き、描画表現に必要な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 対象モチーフの良さを感性や想像力を働かせて捉え、配置や構図を工夫して表現する方法を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 想像力をもって、対象モチーフが持つ美しさや特徴を理解し、その要素を試行錯誤しながら描画する工夫をしようとする	・指導事項 鉛筆の削り方と基礎的なデッサン習得し、鉛筆による様々な描画表現を身に付けるとともに、対象モチーフの質感や形の良さを理解し、画面に表現する ・教材 高校美術 I 光村図書 プリント 一人1台端末の活用 等 鉛筆の削り方の動画を教科書のQRコードから読み取り確認する 資料探し	○		○	A 鉛筆デッサン 【知識及び技能】 対象モチーフにふさわしい鉛筆の技法に留意して描き、描画表現に必要な技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 対象モチーフの良さを感性や想像力を働かせて捉え、配置や構図を工夫して表現する方法を理解している 【学びに向かう力、人間性等】 想像力をもって、対象モチーフが持つ美しさや特徴を理解し、その要素を試行錯誤しながら描画する工夫をしようとしている	○	○	○	12
B 平面構成 【知識及び技能】 「色相・明度・彩度」等の基礎的な色彩の理論をとアクリル絵の具の技法を学び、様々な感覚を色彩で表現するために必要な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 感情を色彩で表すというテーマにふさわしい配色や構図を考え、デザインに結び付けて表現する方法を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 平面構成の制作を通じてデザインとは何かを考えながら構想を練り、試行錯誤しながら表現する工夫をしようとする	・指導事項 基礎的な色彩理論を学び、アクリル絵の具による様々な表現を身に付けるとともに、デザインすることで画面に表現する ・教材 高校美術 I 光村図書 プリント 一人1台端末の活用 等 絵具についての動画を教科書のQRコードから読み取り確認する 資料探し		○		B 平面構成 【知識及び技能】 「色相・明度・彩度」等の基礎的な色彩の理論をとアクリル絵の具の技法を学び、様々な感覚を色彩で表現するために必要な技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 感情を色彩で表すというテーマにふさわしい配色や構図を考え、デザインに結び付けて表現する方法を理解している 【学びに向かう力、人間性等】 平面構成の制作を通じてデザインとは何かを考えながら構想を練り、試行錯誤しながら表現する工夫をしようとしている	○	○	○	12

